令和7年度　指定管理者制度導入施設モニタリングシート

●施設概要

施設名	古河市ネーブルパーク	**施設所管課**	都市計画課		
指定管理者名	一般財団法人古河市地域振興公社	**指定期間（評価実施年）**	令和４年４月１日	～	令和9年3月31日
			（指定期間　5年　のうち　4年目）		
施設設置目的	市民が自然に親しみ、心の安らぎの場とするために設置する。				
主な実施事業	キャビン、バーベキュー広場、研修センター「平成館」等、有料施設の管理運営 蕎麦屋、パン屋、平成館レストランなどの飲食提供業務 ポニー牧場管理、イベント会場の貸出、管理運営				

●実績報告

開館・開園日数	利用人数（人）	利用団体数（団体）	減免数（件）	指定管理料（円）	指定管理者の収支状況			備　考
					収入【A】(円)	支出【B】(円)	差引【A-B】(円)	
365	340,300		12,866	205,310,000	342,096,621	325,898,601	16,198,020	

●管理運営状況

項目		評価基準（評価の観点）	評価内容			
			自己	指定管理者コメント	所管課	所管課コメント
1. 団体の能力	団体の安定性	安定した運営ができる財務状況である	A	公園施設、運動施設、子育て施設等、他の指定管理　施設同様に、条例・仕様書等の規定を遵守し、設置目的に沿った運営を行っております。財政面では、物価上昇・最低賃金の引上げによる影響もありましたが、引き続き安定した運営が出来る状態を維持しております。	A	評議員会・理事会にて予算・決算等を審査しており、団体としての財政状況は健全である。他の管理者施設と同様に条例における設置目的や役割を理解し、事業運営をしている。
	団体の信頼性	類似施設の管理実績が良好である				
	基本方針	市の計画や条例における施設の設置目的や役割を理解している 指定管理者としての責務を認識し、真摯に事業に取り組む姿勢がある				
2. 管理運営の基本事項	公平性の確保	誰もが平等・公平に利用できる仕組みづくりがされている	A	利用時間・開館日は条例・協定書を基本とし、利用者サービスに繋がる変更がある場合は、市の承認及び報告を得て実施しております。その変更については、公式ホームページなどで周知しております。また、導入されたネット予約を活用しております。	A	仕様書、協定書、条例を遵守しながら公平性を確保して運営している。
		・利用時間・開館日は協定書を遵守している ・利用時間・開館日・事業内容等の周知は的確である ・予約方法・受付方法は的確である				
	苦情・要望の把握と対応	利用者の意見・要望の把握とその反映の方法は的確である トラブル発生時の対応策や未然防止策が検討されている	A	利用者からの問い合わせ、苦情等があった場合は、迅速でかつ親切丁寧な対応を心がけ、適切なご案内、記録を行いました。また重大な事項には、関係部署への相談、報告を行いました。 利用者満足度調査や各施設で実施したアンケート、来園者とのコミュニケーション等によって様々な意見の収集を行い施設改善に反映しました。	A	問い合わせや苦情には迅速かつ丁寧な対応を行うとともに、市への報告も迅速である。利用者アンケートにより、利用者の意見を収集し、要望を把握したうえで、可能なものは迅速に対応しており、利用者もおおむね満足している。
		・苦情・要望の把握方法・対応が明確になっている ・苦情・要望内容、対応についてきちんと記録されている ・より多くの意見を集められるよう工夫が図られている ・利用者が気持ちよく利用できるよう工夫が図られている				
	情報管理	個人情報保護や業務上知り得た秘密の漏洩防止策が講じられている 情報公開への対応は的確である	A	個人情報保護に関してマニュアル、規程に従い行動するよう徹底しております。また、「情報公開実施規程」を制定運用しております。	A	各種マニュアル等を策定し、適切に管理している。
		・業務上知り得た秘密や個人情報の適切な管理方法について定めた個人情報保護マニュアルが策定、更新されている ・情報管理について職員に意識付けされており、マニュアル通り運用されている ・情報公開規程が策定されている				
	利用者の安全確保	日常から利用者が安全に利用できるよう、事故防止、防犯、防災などきめ細かい安全対策が講じられている	A	来園者安全確保のために、日常巡回、日常点検を行いました。発見された危険箇所については、状況に応じた処置（使用停止、通行止、応急処置等）を迅速に行い、その後必要な修繕を行いました。また、防犯カメラを活用した防犯対策も行っています。 施設にあった緊急時のマニュアルを作成し、マニュアルに沿った消火訓練、避難訓練を行いました。	A	
		・日常的に必要な安全点検を行っている ・緊急時の行動規範(マニュアル）が策定・更新されている ・緊急時の行動規範(マニュアル）が職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・最低年１回の避難訓練を実施している				
	危機管理体制	事故、災害など緊急時において適切な対応ができるような体制がとられている	A	「緊急時の連絡先」、「事故・災害発生時対応マニュアル」、「感染症に対する危機対策マニュアル」、「コロナ対応マニュアル」が策定されています。 消防用設備や非常用設備、避難経路の確保など緊急時に不備がないよう管理を行いました。 宿泊者がいることもあり、夜間においても警備員を常駐し、夜間における警備体制も強化しております。	A	
		・危機管理マニュアルが策定、更新されている ・危機管理マニュアルが職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・非常口の表示がされており、避難経路が確保されている				

3.管理運営体	人員体制	管理運営内容と整合した職員体制がとられている 必要な資格、専門的な知識を持った職員が配置されている 人件費の設定は適切である ・業務遂行のための適切な職員体制がとられている ・業務遂行に必要な資格を持った職員を確保しており、適正に配置している ・勤務時間・賃金・雇用等において労働基準法等関連法令を遵守している	A	万全な施設運営を遂行するため、職員、契約職員、委託業務員を効率的に配置しています。また、施設の管理運営に必要な資格（防火管理者、食品衛生責任者、危険物取扱者等）を有する者を適正に配置しています。 労働基準法等関連法令を遵守した人事管理を行っています。	A	運営に必要な資格、専門的な知識を持った職員を確保し、適切に配置している。
	人材育成	職員の育成、資質向上のためのきめ細やかな取組が実施されている ・職員の育成、資質向上のための研修を実施している ・職員の技術向上のための研修を実施している ・利用者に対して気持ちの良い対応をしている	A	専門家を招聘したプレゼンテーション研修や副市長によるビジネスモデルキャンパス研修等を受講しました。また遊具点検講習や公園管理講習、労働安全衛生法に定められた特別教育、安全衛生教育等を外部教育機関で受講しました。 利用者満足者調査においても接遇に対して高い満足度をいただいております。	A	計画的に研修を実施し、職員の資質及び技術向上に努めている。また、利用者アンケートにおいても、スタッフの対応について高評価をいただいている。
	施設の維持管理	施設の機能維持、物品管理の方策は適切である ・施設を清潔で衛生的に保っている。 ・施設の機能維持に必要な保守点検業務を実施している ・修繕が必要な箇所や危険箇所を早期に把握できるような体制がとられている ・法定点検を実施し、遅滞無く市に報告している ・備品を良好に保ち、備品台帳で適切に管理している	A	日常清掃のほか、定期清掃を行い、施設を清潔で衛生的に管理しています。また感染症対策のため引き続き施設入口への消毒剤の設置、利用後の清掃・消毒など衛生管理を徹底しました。 各種設備の定期点検や法定点検をはじめとした各種保守点検を実施し、施設の機能維持に努め、市にも報告いたしました。また、樹木の病害虫対策について適切な対処を致しました。 修繕が必要な箇所については計画的な修繕を実施し、緊急に修繕が必要な箇所については、迅速に行動し対応してきました。 備品台帳を作成し、適切に備品管理を行いました。	A	施設の安全管理のため、必要な修繕を実施し、維持管理に努めている。 利用者アンケートにおいても、施設が清潔に管理されており満足している旨の声が多数寄せられている。
	業務委託	再委託の業務範囲、委託方法及び委託先は適切である 再委託業務の成果確認の方法は適切である ・委託先を決める際に数社から見積もりをとるなど、委託方法及び委託先は適切であり、事前に市の承認を受けている ・再委託業務の成果確認を実施している	A	業者の選定については古河市財務規則を準用するなどし、適切に選定しています。また、業務の成果確認については、実地による現状把握のほか、報告および各種報告書等の提出を受け、成果確認を行っています。	A	業務委託については、市へ事前承認を受けたうえ、市契約規則ほか関係法令を準用し実施している。
4.施設の効果的活用	広報・PR	利用者の増加を図るための広報計画や数値目標が適切である 魅力的なサービスや利便性向上につながる提案がなされている ・各種媒体を利用した利用促進の取り組みを実施している ・利用促進の取り組みの成果を把握している	A	ホームページやSNSを活用した施設PR・イベント・営業変更・園内修繕等の情報発信を行いました。 大手出版社等の旅行雑誌やタウン誌、地元ケーブルテレビ、市PR番組へ協力し、情報発信を行いました。 HP や SNS からのお問合せ、各種イベントや施設利用者のアンケート意見などのフィードバックに努めました。また、貸農園の利用者など SNS の宣伝から予約・利用に繋がりました。	A	市広報のほか、SNS、雑誌や広告媒体等、多種多様なPRを実施し、利用促進を行った。 アウトドアサイトによるネット予約も取り入れるなど、多様なPRに努めている。
	施設の活用	施設の利用拡大のための事業、または自主事業の取組が検討されている。 ・魅力的な企画やイベントの実施により、利用者数や稼働率に効果がみられる	A	バレルサウナオープニングセレモニーの実施、主催としてさくらまつり、秋まつりを開催したほか、公園朝市の開催、Lounge＆Kiosk でのミントマルシェの開催など、新たな利用者層発掘に努めました。	A	公園の魅力や特性を生かした利用促進事業や自主事業を実施し、利用促進に取り組んだ。
5.効率性	経費削減・収支バランス	経費節減のための方策は、無理がなく実現可能なものである 設定額（サービスとコストのバランス）は妥当である ・利用料金収入は当初見込みと乖離していない ・修繕費は適切に執行されている（過剰な剰余金はない） ・収支計画書の範囲内で適正に予算を執行している ・指定管理に係る会計は、団体自体の会計と区別した管理をしている ・経費削減は施設機能の低下等なく実施されている	A	ネーブルパークに関わる会計は、他施設会計と区分して行っております。 事業収入は前年度より増収となりました。昨年同様カシノナガキクイムシ被害により伐採費用がかさみましたが、経費削減や業務の見直しなどを行いました。 什器備品の修繕費相当分を含め、計画的に修繕を行い、適切に執行しました。	A	事業収入は前年度を上回っている。委託料も増えており、適正な施設管理を行った。 施設の修繕については計画的に行い、利用者の満足度向上に努めた。 人件費については差異が大きいため、次年度の予算書を見直すなど、再度検討されたい。

【評価基準】

SS	優良：仕様書等の業務要求水準を上回る効果的・画期的な取組により、優れた成果があったもの 【コメントに取組内容・効果の具体例を記入】
S	良：仕様書等の業務要求水準を上回る取組がされているもの 【コメントに取組内容の具体例を記入】
A	普通：仕様書等の業務要求水準どおりに行われているもの
B	不十分：仕様書等の業務要求水準に達しておらず、さらなる努力・改善が必要なもの
C	不備：仕様書等に基づく実施すべき事項が履行されておらず、指導や事業内容の見直しが必要なもの

●総括評価

指定管理者	1年間の自らの管理運営状況、施設の実績等を評価し、翌年度の課題等があれば記入してください。	ネーブルパーク、総合公園、ふるさとの森を長年管理している経験を元に、病害虫の防除・駆除、修繕、事件事故、イベントなどの情報共有、相互協力を行ってきました。今後も三公園を管理している経験を活かし、公園管理していこうと考えております。 本年度の施設維持管理状況ですが、猛暑の影響もあり屋外施設の利用が減少傾向となりましたが、一方でネット予約の導入効果もあり、キャビンや平成館の利用が増加傾向となりました。5月より開始されたサウナ施設についても好評であり、多くの方がリピーターとしてご利用いただいております。 安全安心な公園づくりにつきましては、園内及び遊具の巡回点検を適宜実施し、早期に危険箇所を発見し対処を行いました。また昨年より発生したクビアカツヤカミキリによる被害が広がっておりますが、公方公園で培ったノウハウを生かし、適切な防除に努めました。今後も近隣からの飛来が懸念されるため、引き続き注視してまいります。 利用促進につきましては、パン屋、そば屋での新商品や季節限定メニューの導入を積極的に行いました、また平成館で新たに始まったサウナ施設の有料広告を含め PR に努め、他の施設との連動を行い、相互サービス、利用促進等、サービス向上に努めました。リニューアル施設であるラウンジ＆キオスクについては、酒類販売の許可を受け酒類販売を開始しました。地域商社事業商品の「くらふとあいす＆」の販売は好評を得ております。冷凍 BBQ 食材の販売などを行いました。また、公園に植栽したミントを活用したイベント「ミントマルシェ」を開催し賑わいの創出を行いました。イベント後も公園の副産物を活用した「ミント摘み体験」や「ミントを活用したサウナ水風呂」などを行いました。来年度以降はラウンジ＆キオスクでの定期的なワークショップの開催を予定しております。 イベントにつきましては、古河市観光協会が行っていた「菊まつり」を観光協会撤退に伴い、公社主催にて「秋まつり」と変えて開催し、例年を上回る盛況でした。古河さくらまつり実行委員会が開催していた「古河さくらまつり」においても、実行委員会解散に伴いに実施内容を見直し、公社が主催にて「春まつり」として開催しました。偶数月に開催している公園朝市は毎回好評を得ており、公園の賑わい創出に寄与しております。 令和7年度は、物価高騰、茨城県の最低賃金の改正等、厳しい経済環境の中での運営となりましたが、限られた予算の中で効率的な経費管理に努めました。具体的には、調達方法の工夫、業務の効率化を図ることで、サービスの質を維持しつつ、安定した施設運営を実現いたしました。施設の経年劣化などの課題も踏まえつつ、今後も利用者の皆様の満足度向上と持続可能な運営の両立を目指し、ノウハウや経験をフルに活用するとともに古河市と密に協議・連携しながら、より良い施設運営に努めてまいります。 令和8年度については整備したミント園を活用したイベントやワークショップの開催。リニューアル工事による休館する平成館では、営業開始に合わせた営業展開の準備などをおこなってまいります。
所管課	事業報告書の内容、利用者アンケート及び実地調査の結果等を多角的に評価し、指定管理者制度導入の効果を検証してください。	事業報告書、利用者アンケート及び実地調査の結果を総合的に評価すると、指定管理者のノウハウや創意工夫を活かした管理運営により、施設の魅力向上と利用促進が図られており、指定管理者制度導入の効果が認められる。ネーブルパークにおいては、猛暑の影響により屋外施設の利用が減少したものの、ネット予約の導入やサウナ施設の運営開始により、キャビンや平成館の利用増加につなげている。また、パン・そば販売施設での商品開発や、ラウンジ＆キオスクにおける新たなサービス展開、公園資源であるミントを活用したイベントや体験事業の実施など、民間的な発想を取り入れた利用促進策に積極的に取り組み、公園の賑わい創出と魅力向上に寄与したことは評価できる。維持管理面では、日常的な巡回点検による安全管理の徹底や、クビアカツヤカミキリ被害への迅速な対応など、利用者が安全・安心に利用できる環境づくりに努めている。また、物価高騰や人件費上昇といった厳しい経営環境の中においても、業務の効率化や調達方法の工夫により、サービス水準を維持しながら安定した施設運営を実施した点も評価できる。 今後は、リニューアル後の施設運営やミント園を活用した事業展開など、さらなる利用者満足度の向上と公園の魅力発信に期待するとともに、老朽化する施設への適切な対応を進めながら、持続可能な管理運営に努められたい。